

リーディングDXスクール事業【実践事例】

川越市立川越西小学校（埼玉県）

【取組内容①】ワークシートのクラウド化による協働的な学びの加速

標準のクラウドサービスなどを活用し、共有を前提として児童同士で横展開ができる学習活動のための工夫です。



↑ ジャムボードによる各班の意見整理（社会科）

↓クラウド上の学習支援ソフトに各自が意見を入力し、担任がファシリテートしながら学習が展開していく（道徳）



↑ CHROME MUSIC LABで表現した作品をクラウド上に投稿し、曲を聴いての感想を相互に記入（音楽科）

学習活動で使用するワークシートを紙で作成するのではなく、できるところから児童の端末に配信できるようデジタル化している。

はじめは今までの紙のワークシートをデジタル化したようなものだったが、今では端末での活動を前提として学習活動を組めるようになってきた。

▶クラウド化することで、学習活動が家庭でも連続するよう場面も増えてきた。